

# がん検診の精度管理に係る市町村への助言事項について（H30年度）

## 1 チェックリスト遵守について

チェックリストの項目を遵守することで、がん検診の質を高い水準に保つことができ、それによって地域住民のがん死亡率の減少へとつながることから、チェックリストの全項目遵守に向けて取り組まれない。

## 2 チェックリスト未提出

チェックリストの使用に関する実態調査が未回答であったので、チェックリストの項目を遵守することで、がん検診の質を高い水準に保つことができ、それによって地域住民のがん死亡率の減少へとつながることから、チェックリストの活用など、がん検診の適切な事業評価・精度管理に努められたい。

## 3 遵守率の高い項目に係る非遵守市町村

次の項目については、道内の市町村の90%以上が遵守していることから、その遵守に向けて取り組まれない。

### 【問5-2】

精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めましたか。

## 4 全国の遵守率を大きく下回っている項目について

次の2項目については、全国と比較し、全道の遵守率が大きく下回っている状況にあり、チェックリストの項目を遵守することで、がん検診の質を高い水準に保つことができ、それによって地域住民のがん死亡率の減少へとつながることから、その遵守に向けてより一層努められたい。

(1) 【問1-2】対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか。

(2) 【問3-2-1】問3-2の一覧に掲載したすべて精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか。

## 5 精密検診受診率の向上について

「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」（平成20年3月がん検診事業の評価に関する委員会）において、がん検診の事業評価に当たっての許容値及び目標値を示しているが、地域保健・健康増進事業報告からがん検診精密検査受診率を算出したところ、許容値に達していないことが確認されたので、許容値・目標値以上の受診率に向け、一層取り組まれない。